



2026年5月13日

各位

上場会社名 株式会社日本製鋼所
代表者 代表取締役社長 松尾敏夫
コード番号 5631 東証プライム
問合先責任者 総務部長 寺田健二
(TEL:03-5745-2011)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当の決定額

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2025年5月13日公表) | 前期実績 (2025年3月期) |
|----------|------------|---------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2026年3月31日 | 2026年3月31日 | 2025年3月31日 |
| 1株当たり配当金 | 48円 | 44円 | 48円 |
| 配当金総額 | 3,533百万円 | — | 3,532百万円 |
| 効力発生日 | 2026年6月23日 | — | 2025年6月24日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

2. 剰余金の配当の理由

当社の利益配分につきましては、安定的かつ継続的な配当の実施とその向上を基本姿勢としております。また、企業価値及び株主価値の向上のため、現有事業の安定的な収益力の確保と新事業・新製品伸長に向けた設備投資、研究開発投資を進めるほか、財務体質の改善にも努めております。

当社は、毎事業年度における配当について、期間業績に応じるほか、株主に対する責務との認識も踏まえ、期末配当に加えて中間配当を行うことを基本としており、これら剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会として、配当を実施しております。

また、現中期経営計画「JGP2028」期間中は、連結配当性向 35%以上を目標としたうえで、DOE(連結株主資本配当率)2.5%を下限に配当を実施いたします。

2026年3月期の配当金につきましては、上記の方針を勘案し、期末配当予想を前回発表予想に対し4円増加の48円とし、年間配当金額の合計は1株当たり92円とすることといたしました。

なお、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当の正式決定は、2026年6月22日開催予定の第100回定時株主総会で行う予定です。

(ご参考)

| 基準日 | 1株当たり配当金 | | |
|----------------|----------|-----|-----|
| | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
| 当期実績(2026年3月期) | 44円 | 48円 | 92円 |
| 前期実績(2025年3月期) | 38円 | 48円 | 86円 |

以上